

1 単元名 「茶つみ」

2 単元の目標

○（知識及び技能）

宇治茶の歴史や伝統について知り、宇治茶だけではなく身の回りにある他の伝統的な文化についても調べ、理解することができる。

○（思考力・判断力・表現力等）

伝統的なものを今後も伝えていくために自分にできることを考え、その考えたことを自分だけではなく周りの人に伝えることができる。

○（主体的に学習に取り組む態度）

学習を通して、授業内だけではなく様々な文化について意欲的に調べたり発信したりしようとする。

3 単元について教材について

（1）教材について

共通教材である「茶摘み」の歌詞の内容では初夏に見られる茶畑の様子が描かれている他、宇治周辺の茶摘み歌と歌詞が類似している。歌詞の中にある八十八夜とは暦の上で立春から88日目を表していて茶摘みをする時期とされている。

宇治茶とは定義として京都・奈良・滋賀・三重で栽培されたもの、京都府内で製造・加工されたもの、また、京都府産の茶葉を優先することとされている。宇治茶は1738年に宇治田原の茶農家・永谷宗円が「宇治茶手もみ製茶技術（宇治製法とも呼ばれる）」を考案し、色、味、香り共においしい煎茶が完成したとされている。また、一日の気温差が激しい山間地で霜から茶葉を守るため覆いをすることによってまろやかな旨味をもつ玉露も有名である。

昨今、伝統的な文化を継承する人が減ってきていること、そしてその文化について知っている人が少なくなっている。本教材では農家さんを、訪ね話を聞き、お茶を飲み、五感をも通して文化の継承のすばらしさと大変さ、大切さを理解することができる。児童に約300年という長い間受け継がれ続けているということを理解し、また自分たちには何ができるのかを考えるのに良い教材である。

## (2) 児童について (省略)

## (3) 指導について

この授業は、まず導入として、音楽の授業で歌う「茶つみ」から地元にある文化について考えさせ、宇治茶について調べ学習を行う。次に得た知識を通して、総合の授業で体験活動を実施する。体験活動の主な内容として、実際に茶畑へ行き茶畑の様子を目で見て感じ、茶農家さんからお茶の歴史をはじめ、栽培方法について話を聞く中で文化の継承問題についての話を聞く。そして、調べ学習で得た知識と実際に茶農家さんから聞く話を踏まえ、茶摘み体験や急須で入れたお茶で利き茶を行う活動に参加することを通して、茶農家の後継者問題だけではなく、急須でお茶を飲む文化について触れさせたい。利き茶体験では伝統的な栽培方法の違いによる叔父の違いにも着目させていきたい。ここまでの体験活動では、学習を通して感じたことや学んだことはその段階でメモできるようにしておく。お茶について学習している他の小学校の児童と交流する機会もつくりたい。お互いに大切だと感じることや問題について、より深く意見交流ができる場を設定する。また、本授業は宇治茶で終わるのではなく、他の文化についても調べ、児童が意欲的に文化について知ろうという姿勢を目指す。また、総合での学習を通して培った感性をもとに、音楽で歌う「茶つみ」をハーモニーだけでなく茶畑の風景やお茶を想像しながら歌わせたい。

### ・本学習で働かせるESDの視点 (見方・考え方)

- ・ 相互性…現在の生活の中にも伝統的なものが受け継がれていて、お茶だけでなく他の文化や歴史についてお互いに影響し合っていることに気づくことができる。
- ・ 連携性…伝統的なものに関わる一部の人だけが継承していくのではなく、私たちの生活にも深く密接に関わりがある。

### ・本学習を通して育てたいESDの資質・能力

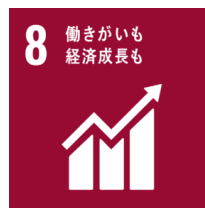
- 長期的思考力…現在までだけではなくこれからの文化について考える。
- コミュニケーション力…現場に携わる人から話を聞き、発信することができる。

### ・本学習で変容を促すESDの価値観

- ・ 世代間の公正を意識できる…自分の世代だけでなく過去から受け継ぎ、未来につなぐ。
- ・ 自然環境・生態系の保全を重視する…これまで受け継がれてきたことによって保たれた自然環境や生態系の保全につながると考えられる。

### ・達成が期待されるSDGs

8, 15



#### 4 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ主体的に学習に取り組む態度
① 宇治茶について調べ、宇治茶の歴史について理解している。 ② 宇治茶だけではなく身の回りにある他の伝統的な文化について調べ、理解している。	① 伝統的なものを今後も伝えていくために自分にできることを考え自分だけではなく周りの人に伝えることができる。	① 学習を通して授業内だけではなく意欲的に様々な文化について調べ、発信しようとしている。

#### 5 単元の展開（全16時間）

	主な学習活動	指導上の留意点	評価
第一 次	茶摘みについて自分のイメージを出し合おう！ ○茶摘みを聴き歌い、「茶摘み」のイメージ宇治茶を出し合う。1時間	○写真などを用意し「茶摘み」の様子を分かりやすいよう配慮したうえで歌詞や音程からのイメージ「お茶」のイメージを発表させる。	ア①
第二 次	宇治茶とはいったいどんなお茶なんだろう？ ○宇治茶について調べる。2時間  ○茶畑に行き話を聞いたり体験活動したりする。6時間	○宇治茶について本やインターネットを使って調べさせ、身近にある宇治茶がなぜ有名なのか、そもそもなぜお茶が飲まれているのかなど考えさせる。 ○実際に茶畑へ行き、見学、茶摘み体験、利き茶体験などを行い茶農家さんに話を伺う。	ウ①
第三 次	これからも宇治茶の文化は受け継がれていくのだろうか？ ○宇治茶を継承していくために何ができるか考える。1時間 ○体験活動で学んだことを交流活動で発表できるように班ごとにまとめる。3時間	○体験活動を通して大切に感じたことを中心にグループで考えを共有させる。 ○スムーズに発表できるよう台本も作らせる。	イ①

第四次	<p>○他の小学校と交流活動を行い、他の地域で考えたお茶についても学ぶ。</p> <p>2時間</p>	<p>○宇治以外でもお茶は栽培されているため他の地域で重要とされることが学べるようにメモを取らせ、質問できる時間を作る。</p>	イ①
第五次	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">自分の地元で昔から受け継がれてきているものは他にあるだろうか？</div>		ア②
	<p>○他に身近に昔から継承されてきた文化について調べる。</p> <p>2時間</p> <p>○学習を通してお茶に関する風景などを思い浮かべながら「茶つみ」を歌う。</p>	<p>○日本の生活の中には日本にしかない文化が様々であるため、普段気づけないところにも目を向けさせる。</p> <p>○学習したことと楽曲を関連させるために体験学習で撮った写真などを見せて歌わせる。</p>	